

# 無聖

第79号



◆「一味同心」～新たな時代に向かって～ 会長 神作 紹道 .....	2	◆2019年度(令和元年度)予算書 .....	8
◆第26期役員・理事紹介 .....	3	◆定例総会並びに合同委員会報告 .....	9
◆令和元年度第1回研修会報告 .....	4	◆令和元年度ソフトボール大会報告 .....	9
◆平成30年度 事業報告 .....	5	◆無聖連載 寺院庭園巡り 龍島院 .....	10
◆平成30年度 収支決算報告 .....	6	◆サンタピアップみやぎ 活動報告 .....	11
◆2019年度(令和元年度)事業計画 .....	7	◆事務局だより .....	12



会長挨拶

# 「一味同心」～新たな時代に向かって～

第26期会長 清凉寺 副住職 神作 紹道

この度、宮城県曹洞宗青年会（以下、宮曹青）第二十六期会長の重任を拝する事になりました仙台市清凉寺 神作紹道です。

お陰様にて、昨年（平成三十年）に宮曹青は、創立五十周年を迎えることが出来ました。昭和四十四年に、熱き想いと決意を胸に県内諸老師が結集され宮城県曹洞宗青年会が発足されました。会の目的を「会員相互の研修と親睦を図ると共に布教化活動を推進すること」と定め、歴代の会員の方々が脈々とその志を受け継ぎながら活動を続けてこられた半世紀の歴史に感謝と敬意を覚えます。同時に、そのような宮曹青を代表する立場になりました事に責任の重さを改めて感じ、誠身の引き締まる思いがいたします。

## 【今期スローガンと運営方針】

さて、第二十六期のスローガンは「一味同心、新たな時代に向かって」とさせていただきました。この「一味同心」という言葉は、道元禅師の法灯を受け継いだ瑩山禅師が「洞谷山尽未来際置文」に残された言葉です。「出家、諸門弟等、一味同心にして当山をもって一大事と為し、ひとえに五老峯を崇拜せよ」と教示され、時代が変遷しても志を同じくするものと手を取合い、難値難遇有りと相和和睦をもって永光寺を護持していきなさいとお示しになったのです。

私はこの言葉に倣い、会員の方々と一味同心にして宮曹青を想い、歴代祖師、先輩諸老師の教えを受け継ぎながら、当会の目的を遂げるため、共に歩みを進め、宮曹青をさらなる発展、そして次代につなげたい所存です。そのためには何が必要か。それは、仏道にさらに精進し、御仏の教えをお伝えすること、全ての方々が心穏やかに生きて

いけるよう願ひ、活動するつもりです。

創立より半世紀を経た宮曹青は、今では平成生まれの方が多く活躍されるようになって参りました。東日本大震災以降、被災した地域は五里霧中の生活の中でも町の様子は刻々と変化を遂げています。首都圏では二〇二〇年の東京オリンピックに向けて町が様変わりしています。そして、平成から令和へ移り変わった二〇一九年、第二十六期は多くの変化の中を、宮曹青の新たな五十年に向けて歩み始めることとなります。

時には、困難に遭遇するかもしれませんが、新たな時代に向かって、守るべきものを守り、しながら変化を恐れず、第二十六期は、一味同心に邁進して参りたい所存でございます。

## 【サンタピアップみやぎボランティア会】について

宮曹青が主管するサンタピアップみやぎボランティア会につきましては、今期第二十六期中にもカンボジアへの新校舎贈呈の予定でありまして、校舎贈呈は通算で二十校目となります。

このことは協力関係団体でありますサンティア国際ボランティア会によれば、カンボジアに対して単独の団体が三十年近くに渡り継続して校舎贈呈をすることは極めて稀であり、誇るべき業績であるとの事です。

ご承知の通り、サンタピアップみやぎボランティア会では、バザー活動に始まり、書き損じはがき・未使用切手収集活動や、クラフト販売、カレンダー作成販売、写経用紙作成販売、各種行事に赴いての募金活動など非常に多くの情熱を持ってカンボジアへの学校建設資金を捻出しています。継続は力なりの言葉のごとく、まさに布施行の継続を通して、檀信徒の方々や一般の方々にも

仏道に精進することの大切さを布教させていただいております。

一方でカンボジアもこの三十年間に経済発展を遂げ、物価上昇により学校建設資金の高騰が進んでいることも事実です。今後も継続して活動して参りたい所存ではありますが、今後は二年に一校を贈呈しているという現在のペースが保てなくなる可能性も否定できません。

今後の活動内容を検討しながら、カンボジア教育支援活動が継続できますよう皆様の益々のご協力とご支援をお願い申し上げます。

## 結びに

参学弁道の方法は人それぞれですが、自身の経験を振り返ってみますと僧堂安居を終えてから自分の見聞を広げてくれたのは宮曹青でした。宮曹青の活動に参加させていただいたことが今の自分を作ってきたと言っても過言ではありません。そしてそこでは多くの出会いに恵まれ繋がりができました。

人と人の繋がりは自然とできるものだけではなく、自分が置かれている立場を活かすことで変わってくるものでもあります。是非、多くの方に宮曹青の活動にご参加いただき、色々な人や事柄に触れ合い出会い、広がる繋がりがりや見識を「一味同心」の思いの下に分かち合って参りたい所存です。

末筆となりますが、各御寺院様、会員の皆様、並びに関係各位におかれましては、宮曹青への益々のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 第26期 役員・理事紹介

顧問	全	庶務	全	会計	事務局長	広報編集副委員長	交流事業副委員長	ボランティア副委員長	研修副委員長	広報編集委員長	交流事業委員長	ボランティア委員長	研修委員長	全	全	監事	全	全	副会長	会長
長谷川 俊昭 耕徳寺	三田村 孝成 真證寺	我妻 俊道 江巖寺	川合 恭永 柳澤寺	都築 達明 鉤取寺	牧野 隆信 高林寺	中澤 慧乘 善徳寺	岩井 太秀 宗禪寺	阿部 真龍 光壽院	高橋 恵一 龍興院	松山 宏成 昌林寺	笠松 秀俊 東周院	時 泰広 満興寺	渡邊 桂堂 天性寺	三輪 宗俊 多福院	小枝 誠智 國分尼寺	根本 秀逸 金剛寺	千田 祥幹 洞雲寺	高橋 信弘 大慈寺	館寺 規弘 圓滿寺	神作 紹道 清涼寺



全	全	幹事	常任幹事	●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会	教化委員	●全国曹洞宗青年会
牧野 隆信 高林寺	千田 祥幹 洞雲寺	高橋 信弘 大慈寺	神作 紹道 清涼寺	宮本 貴心 石雲寺		

第21教区	第20教区	第19教区	第18教区	第17教区	第16教区	第15教区	第14教区	第13教区	第12教区	第11教区	第10教区	第9教区	第8教区	第7教区	第6教区	第5教区	第4教区	第3教区	第2教区	第1教区	●教区理事紹介	
千田 道順 興禪院御山内	菅原 潤一 実相寺御山内	金子 高幸 大雄寺御尊董	佐藤 泰澄 松岩寺御山内	高橋 悦堂 普門寺御山内	丸谷 泰元 清泉寺御山内	館寺 俊明 津龍院御尊董	吉田 亮顕 林昌院御尊董	永松 泰樹 長谷寺御山内	坂本 顕一 建立寺御尊董	米谷 照道 西雲寺御山内	三浦 正和 玄松院御山内	木村 道隆 富光寺御山内	千葉 恵慈 香林寺御山内	仙石 鳳順 湯船寺御山内	笹木 友宏 東禪寺御山内	佐藤 邦彦 龍雲寺御山内	田村 晃義 永禪寺御山内	吉田 義弘 道安寺御尊董	浅沼 良智 龍泉院御山内	伊藤 孝裕 保壽寺御尊董		

# 令和元年度第一回研修会報告

令和元年七月十七日(水)、岩手県正法寺様を会場に今年度第一回研修会を開催致しました。

本研修会では、我々宗侶の根幹を培った僧堂修行の実践を日常における布教活動にいかにして工夫活用していくべきかを参究することを目的としました。そこでこの度、講師を県内にお迎えするのではなく、私達が修行道場に実際に赴く形での研修を行いました。

当日は、遠方にも関わらず五十名の会員諸師にご参加をいただきました。各自現地に集合の後、正法寺御住職盛田正孝老師はじめ山内役寮諸老師ご隨喜の中、拝登諷経を勤めさせていただきました。記念撮影後、開山堂にて焼香参拝、諸堂拜観をしながら正法寺様の現状や普段の行持のつとめ方を丁寧にお話いただきました。

その後、僧堂の内外の単を開放していただき坐禅実修となりました。一炷という限られた時間の中ではありましたが、かつて第三の本山とされた歴史ある道場に身を置き、心静かに坐れましたことは、貴重な体験であるだけでなく参加者各々の初心を思い返す機縁となりました。

昼食を終えて午後、山主老師より、「弁道から布教」をテーマにご法話を賜りました。ご法話の中で、「教化衆生」たる布教活動には、常に話す側の自己の修行の在り方である「勤求菩提」が問われる、というご教示に参加者各々が深く感銘を受ける姿が印象的でした。自身が経験した修行を布教の活用手段とするのではなく、教えを布くにはそれに足る自己の研鑽、参禅弁道の裏付けが必要不可欠である事を学び得た事が本研修会の成果であったと存じます。なお、第一回研修会は十一月を予定しております。

「研修委員長 渡邊 桂 堂」



## 平成30年度 事業報告 (関連事業も含む)

### ●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考 1	備 考 2
<b>平成30年</b>				
4月6日	監査会	安養寺 (仙台市)		
4月10日	役員会①理事会①	洞雲寺 (仙台市)		
全	50周年記念事業運営委員会①	全		
4月20日	定例総会	ホテルニュー水戸屋 (仙台市)		50名参加
6月6日	ソフトボール大会	仙台市海岸公園野球場		313名参加
6月20日	役員会②理事会②	洞雲寺 (仙台市)		
全	50周年記念事業運営委員会②	全		
7月1日	サンプリアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺(仙台市)		31名参加
7月4日	第1回研修会	林香院 (仙台市)		39名参加
7月11日	檀信徒集会	仙台サンブラザ		
7月19日	平成30年7月豪雨支援募金活動	仙台市東二番町通り		23名参加
8月5日	傾聴行茶活動「仏一息」	志津川中央復興住宅集会所		14名参加
8月15日	終戦行持「戦災慰霊供養・平和祈念の鐘」	県内御寺院		
8月20日	会報「無聖」77号発行	洞雲寺 (仙台市)		11名参加
9月10日	カンボジア教育支援チャリティバザー	富谷市成田公民館	来場者210名	前日準備併せて156名参加
9月18日	北海道胆振東部地震支援募金活動	仙台市東二番町通り		25名参加
10月4日	県梅花流奉詠大会	仙台サンブラザ		前日準備併せて17名参加
10月15日	役員会③理事会③	洞雲寺 (仙台市)		
全	50周年事業運営委員会③	全		
11月21日	50周年事業運営委員会④	全		
全	サンプピカレンダー作務	全		
11月30日	50周年記念式典・記念講演会	仙台サンブラザ		132名参加
12月11日	役員会④理事会④	洞雲寺 (仙台市)		
12月12～14日	カンボジアフェア	S E L V A (仙台市)		延べ48名出席
12月19日	年次総会・忘年会	ホテルグランテラス仙台国分町		55名参加
<b>平成31年</b>				
1月23～25日	カンボジアフェア	藤崎		58名参加
2月20日	会員大会 第1部 鈴木岩弓先生講演会	ホテルグランテラス仙台国分町	正・特別会員	72名出席
全	会員大会 第2部 ボウリング大会	ポウルサンシャイン	正・特別会員	83名出席
全	会員大会 第3部 懇親会	ホテルグランテラス仙台国分町	正・特別会員	92名出席
2月25～26日	ハガキリサイクルキャンペーン	満興寺 (仙台市)		延べ39名出席
2月27～3月1日	移動研修会	徳島・愛媛・香川		18名参加
3月8日	傾聴行茶活動「仏一息」	志津川中央復興住宅集会所	県内外青年会	11名参加
3月11日	東日本大震災慰霊行脚	石巻市大川地区・旧大川小		35名参加
3月14日	役員会⑤理事会⑤	洞雲寺 (仙台市)		
全	50周年事業運営委員会⑤	全		
3月31日	会報「無聖」78号発行			

※この他「三役会」「各委員会打合せ」「発送作務」を随時開催

### ●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会 (地協)

月 日	事 項	場 所	備 考
<b>平成30年</b>			
5月7日	常任幹事会・定例幹事会	山形国際ホテル	6名参加
11月12日	東北地方集會「山形大会」	山形メトロポリタンホテル・山形テルサ	22名参加
<b>平成31年</b>			
2月11日	常任幹事会	仙台市内	会長参加

### ●全国曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考
<b>平成30年</b>			
5月17日	復興支援室行茶活動	巨理町高須賀公会堂	3名出席
5月18日	定期総会	東京グランドホテル (宗務庁)	11名出席
7月13日	復興支援室行茶活動	巨理町高須賀公会堂	3名参加
9月7日	復興支援室行茶活動	巨理町高須賀公会堂	4名参加
11月9～10日	禅文化学林	大本山總持寺	4名参加
11月16日	復興支援室行茶活動	巨理町高須賀公会堂	1名参加
<b>平成31年</b>			
1月25日	復興支援室行茶活動	巨理町高須賀公会堂	1名参加

### ●全日本仏教青年会

月 日	事 項	場 所	備 考
<b>平成30年</b>			
4月3日	未来の僧侶を考えるワークショップ	常念寺 (他宗)	4名参加
4月26日	花まつり千僧法要	奈良県東大寺	9名参加

### ●全国青少年連絡協議会

月 日	事 項	場 所	備 考
<b>平成30年</b>			
7月20日	夏祭り	万石浦小学校	4名参加

# 平成30年度 宮城県曹洞宗青年会収支決算報告

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

## ●収入の部

項目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備考
I 会費収入	3,310,000	3,275,000	▲ 35,000	
1.正会員	1,810,000	1,880,000	70,000	10,000円×188名
2.賛助会員	750,000	725,000	▲ 25,000	5,000円×145名
3.特別会員	750,000	670,000	▲ 80,000	10,000円×67団体
II 助成金	250,000	250,000	0	宗務所より
III 雑収入	1,989	883,432	881,443	檀信徒集会謝礼、50周年事業残金他
IV 繰越金	513,011	513,011	0	前年度より
合計	4,075,000	4,921,443	846,443	

## ●支出の部

項目	本年度予算	本年度決算	比較増減	備考
I. 会議費	250,000	210,000	▲ 40,000	
1.総会費	100,000	100,000	0	定例総会、年次総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3.役員会費	25,000	25,000	0	会場費
4.委員会費	100,000	60,000	▲ 40,000	4委員会・事務局会開催費
II. 事務費	1,250,000	880,480	▲ 369,520	
1.消耗品費	100,000	36,916	▲ 63,084	事務用品、用紙代等
2.通信費	600,000	442,254	▲ 157,746	郵送料、振込手数料、電話料
3.印刷費	150,000	69,470	▲ 80,530	封筒印刷等
4.備品費	150,000	120,000	▲ 30,000	事務機使用料等
5.慶弔費	50,000	11,840	▲ 38,160	慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助
III. 事業費	1,600,000	1,470,421	▲ 129,579	
1.研修委員会	250,000	243,726	▲ 6,274	研修会1回、移動研修会1回
2.ボランティア委員会	250,000	247,683	▲ 2,317	チャリティバザー
3.広報編集委員会	600,000	540,000	▲ 60,000	『無聖』発行×2回
4.交流事業委員会	200,000	167,012	▲ 32,988	ソフトボール大会、会員大会
5.教化費	50,000	50,000	0	会員大会時助成
6.事業諸費	250,000	222,000	▲ 28,000	旅費補助(千僧法要、全曹青総会、地協大会参加者)
7.会員名簿作成費	0	0	0	会員名簿作成費
IV. 負担金	250,000	251,000	1,000	全曹青・地協会費
V. 予備費	125,000	0	▲ 125,000	
VI. 雑費	150,000	141,748	▲ 8,252	渉外活動費、各会議茶菓等
VII. 繰出金	450,000	450,000	0	
ボランティア基金	50,000	50,000	0	ボランティア基金へ繰出し
特別事業準備金	0	0	0	
復興支援活動金	0	0	0	
50周年事業準備金	400,000	400,000	0	50周年事業準備金へ繰出し
合計	4,075,000	3,403,649	▲ 671,351	

## ■特別会計決算書

● ボランティア基金	1,028,183円
● 特別事業準備金	2,560,750円
● 復興支援活動金	724,138円
● 50周年事業準備金	0円

雑収入	4,921,443円
総支出	3,403,649円
差引	1,517,794円

平成30年度の決算書を上記の通り提出致します。

平成31年4月19日 会長 長谷川 俊昭 ㊟

【監査報告】平成31年4月5日、21教区安養寺様において監査を行い

平成30年度一般会計が適正に執行され、正確であることを確認いたしました。

監事 二階堂 法淳 ㊟

眞山 隆宏 ㊟

三輪 宗俊 ㊟

## 2019年度 事業計画

### ●宮城県曹洞宗青年会

月 日	事 項	場 所	備 考
<b>2019年</b>			
4月9日	理事会①	洞雲寺	
4月19日	定例総会 合同委員会	岩沼屋〔仙台市〕	
6月6日	ソフトボール大会	総合運動公園〔富谷市〕	
6月17日	理事会②	東禅院	
6月30日	サンタピアップみやぎボランティア会定例総会	国分尼寺	サンタピアップ関係
7月17日	第1回研修会	正法寺〔岩手県水沢市〕	
7月下旬	「無聖」79号 会員名簿 発行		
9月5日	カンボジア教育支援チャリティバザー	11教区	
10月3日	梅花県奉詠大会	仙台サンプラザ	サンタピアップ関係
10月上旬	理事会③	東禅院	
11月中旬	第2回研修会	未定	
12月上旬	理事会④	東禅院	
12月中旬	カンボジアフェア	セルバ	サンタピアップ関係
12月中旬	忘年会	未定	
<b>2020年</b>			
1月下旬	カンボジアフェア	藤崎	サンタピアップ関係
2月中旬	会員大会	未定	
2月下旬	ハガキリサイクルキャンペーン	未定	サンタピアップ関係
3月中旬	理事会⑤	東禅院	
3月下旬	「無聖」80号発行		

※復興関連事業は被災地の事情等を考慮し適宜開催

※役員会・各委員会・事務局会は適宜開催

### ●東北地区曹洞宗青年会連絡協議会（地協）

月 日	事 項	場 所
<b>2019年</b>		
5月9日	常任幹事会・定例幹事会	秋田市
10月22日	東北地方集会「福島大会」	福島市

### ●全国曹洞宗青年会（全曹青）

月 日	事 項	場 所
<b>2019年</b>		
4月26日	花まつり 千僧法要	奈良県 東大寺
5月14日 ～15日	全国曹洞宗青年会 定期総会 中央研修会	東京グランドホテル（宗務庁）

# 2019年度 宮城県曹洞宗青年会予算書

自 2019年4月1日 至 2020年3月31日

## ●収入の部

項目	30年度予算	31年度予算	比較増減	備考
I 会費収入	3,310,000	3,290,000	▲ 20,000	
1.正会員	1,810,000	1,830,000	20,000	10,000円×183名
2.賛助会員	750,000	750,000	0	5,000円×150名
3.特別会員	750,000	710,000	▲ 40,000	10,000円×71団体
II 助成金	250,000	250,000	0	宗務所より
III 雑収入	1,989	2,206	217	利息等
IV 繰越金	513,011	1,517,794	1,004,783	前年度より
合計	4,075,000	5,060,000	985,000	

## ●支出の部

項目	30年度予算	31年度予算	比較増減	備考
I. 会議費	250,000	200,000	▲ 50,000	
1.総会費	100,000	50,000	▲ 50,000	定例総会
2.理事会費	25,000	25,000	0	会場費
3.役員会費	25,000	25,000	0	会場費
4.委員会費	100,000	100,000	0	4委員会・事務局会開催費
II. 事務費	1,250,000	1,350,000	100,000	
1.消耗品費	100,000	150,000	50,000	事務用品・用紙代等
2.通信費	600,000	650,000	50,000	郵送料・振込手数料・電話料・HP管理費等
3.印刷費	150,000	150,000	0	封筒印刷・プリンタインク代補助等
4.備品費	150,000	150,000	0	事務機使用料
5.慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔電報等
6.事務諸費	200,000	200,000	0	事務局・庶務・会計事務費補助等
III. 事業費	1,600,000	2,100,000	500,000	
1.研修委員会	250,000	250,000	0	研修会×2回
2.ボランティア委員会	250,000	250,000	0	チャリティバザー
3.広報編集委員会	600,000	600,000	0	『無聖』79・80号発行
4.交流事業委員会	200,000	200,000	0	ソフトボール大会・会員大会
5.教化費	50,000	50,000	0	研修会等
6.事業諸費	250,000	300,000	50,000	旅費補助(全曹青・地協・千僧法要等)
7.会員名簿作成費	0	450,000	450,000	正・賛助・特別会員名簿
IV. 負担金	250,000	250,000	0	全曹青・地協会費
V. 予備費	125,000	710,000	585,000	
VI. 雑費	150,000	150,000	0	渉外活動費・各会議茶菓等
VII. 繰出金	450,000	300,000	▲ 150,000	
ボランティア基金	50,000	0	▲ 50,000	
特別事業準備金	0	300,000	300,000	
復興支援活動金	0	0	0	
50周年事業準備金	400,000		▲ 400,000	
合計	4,075,000	5,060,000	985,000	

## ■特別会計決算書

● ボランティア基金	1,028,183円
● 特別事業準備金	2,860,750円
● 復興支援活動金	724,138円

雑収入	5,060,000円
総支出	5,060,000円
差引	0円

2019年度の一般会計並びに特別会計予算書を上記の通り提出いたします。

2019年4月19日 会長 神作 紹道 ㊟



## 二〇一九年度（平成三十一年度・令和元年度） 定例総会並びに合同委員会報告《事務局》

去る平成三十一年四月十九日（金）午後一時三十分より、秋湯温泉岩沼屋に於いて二〇一九年度定例総会が開催されました。事務局より計百二十七名（正会員六十二名参加、委任状六十六通）にて定足数が確認され、総会の成立が確認されました。議長には第六教区 福應寺 佐藤滋元師が選出され、議長進行のもと次の事項が慎重に審議がなされ、全てについて承認を頂きました。

### 【審議事項】

- ① 五十周年記念事業報告並びに決算報告
- ② 平成三十年復興支援活動報告並びに決算報告
- ③ 平成三十年度事業報告
- ④ 平成三十年度収支決算報告並びに監査報告
- ⑤ 第二十六期役員選出について
- ⑥ 二〇一九年度事業計画（案）
- ⑦ 二〇一九年度予算（案）
- ⑧ その他



合同委員会の一場面

途中休憩を挿み、二十五期と二十六期が交代しての会議運営がなされましたが、円滑な進行を頂きました。

館寺副会長の閉会宣言を以て本年度の定例総会が無事終了いたしました。

総会終了後、引き続き同会場において「合同委員会」が開催され、神作会長より役員・委員に委嘱状を交付されました。その後、各委員会に分かれ本年度の委員会議業について打ち合わせが行われました。

曹洞宗宮城県宗務所・宮曹青共催

## 令和元年度ソフトボール大会 報告書

大会前日の雨の影響を受けず、早朝より交流事業委員会、事務局と共にグラウンド整備会場の設営にあたりました。天候にも恵まれ予定通りの日程で大会を開催することができました。

本年も応援を含め300人を超える皆様にご参加頂きました。

開会式では三田村宗務所長老師にご挨拶賜り、ルール説明や準備体操をして開会いたしました。また今大会は熱中症等に備えて看護師さんに常駐して頂き、万が一の初動対応ができる体制にて臨みました。更に保険証・保険証のコピーを持参して頂き大会に臨みました。怪我人は居りませんでしたので看護師さんの出番無く終えられたことがなにより嬉しかったです。

笑い声が各球場で聞こえ楽しみなながらも、時に緊迫感のある試合展開となり、各チーム交流回りご参加頂いたものと感じました。

反省点として、審判団の方々と試合時間の周知が徹底出来ていなかったこと、決勝トーナメントの開始が円滑に出来なかったことがあげられます。次年度へ反省点を生かしていきたいと思えます。

最後に参加者、関係各位のご協力によりお陰様で無事に大会を終えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

「交流事業委員長 笠松秀俊」



選手宣誓 清月記 相澤充央氏



優勝 創寿苑チーム



準優勝 ペルコチーム



# 庭園巡り 龍島院

今期無聖の連載では曹洞宗寺院の庭園を巡り、造園のきつかけや維持にまつわる出来事をお聞かせ頂き、その意義や活かし方のお話を伺って参ります。

村田町龍島院様は南北朝時代（天授年間）開創された伝承があり、新潟県村上市の耕雲寺七世審岩正察を勧請され耕雲寺十三世賢岩真佐による開山という寺伝が残されています。

寛永三年（一六二七）に伊達政宗七男の宗高公の墓所となり、元和・寛永に起きた蔵王山（刈田岳）の噴火を収めたと伝えられる領主が眠る地という事と相まって、広く崇信を集めています。また、八月十七日の宗高公のご命日には鎮魂の祈りを込めた花火大会が行われております。

龍島院様の庭園は「宮城県新観光名所百選」に選ばれております。

造園は龍島院三十五世丹羽智道先住様が京都詩仙堂の枯山水庭園の魅力に触れ、地元村田町の土木事業にて多数の自然石が手に入ったことを勝縁として、先住様二十五歳の若さで造園の事業をなされました。池泉鑑賞式庭園という形式のことですが、実際には書院（庫裡応接間）からの鑑賞のみではなく、各所に石仏様が鎮座する庭園を回遊することもできる造りとなっております。



東日本大震災以来は、本堂・庫裡の新築工事を期している事も相まって、御詠歌と和楽器による庭園コンサートなどの催しが滞っておりますが、以前と変わらぬ庭園を見に多くの方々が拝観に来られているそうです。

取材に伺った六月初旬にはツツジの花が咲いており、七月の下旬頃からはサルズベリの赤い花が見事に咲くとのこと。年中行事や庭園のお手入れの話など話題は尽きず、「庭園に完成というのは無い、というのが先住様の口癖でした」と語られる住職様のお人柄や、

急な訪問を快く受けて下さった寺族様・ご家族のおもてなしからは、沢山の人々に開かれた場所としてお寺の存在があることを改めて感じました。



## 宮曹青主管 カンボジア教育支援活動 サンタピアップみやぎボランティア会

### 令和元年度「定例総会」報告

去る六月三十日(日)午後三時より国分尼寺様(仙台市新寺)を会場に、令和元年度「定例総会」と「研修会」が開催されました。当日は三十名ご出席のもと、通算二十校目となる小学校建設に向けて更なる発展に努めていくことが確認されました。

研修会では講師として「社団法人サンティ国際ボランティア会」より山室仁子氏をお招きし、「世代を越えてつながるカンボジア支援」と題してお話をいただきました。

これまでの支援活動で建設された小学校で学んだ生徒が大人となり、教師として母校で教鞭を執っているお話



や、その小学校が今や地域の幼児教育のモデル校となっているお話などをご講演頂きました。先人の方々の支援活動がカンボジアの地で確かに息づいている事を知ると共に、これからの我々の支援活動はどうあるべきかを考えさせられる、大変示唆に富んだ研修会となりました。

本年度の事業としては、これまでの書き損じハガキ・切手収集、クラフト商品の販売、カンボジアパネル展示、写経事業のほか、学校建設などを展開してまいります。

### 『小学校建設地決定』アンプ・ルー小学校

皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキ・未使用の切手・支援金をもとに、通算二十校目となる小学校を建設させて頂くことになりました。建設地はアンプ・ルー小学校(カンボジア王国バットアンバン州ソムロート郡ソムロート集合村ボン・ルン村)となります。



現在の旧校舎



教室で授業を受ける子供達

### 一枚のハガキや切手が支えます

#### ■ 書き損じハガキの送り先

〒九八四一〇〇五一

仙台市若林区新寺二一七十一(新寺二一ビル一階)

仙台新寺郵便局留「サンタピアップ」宛

#### ■ 支援金の送り先

郵便振替口座

【名 義】サンタピアップみやぎボランティア会

【口座番号】0229016148744

#### ■ サンタピアップ事務局

〒九八四一〇〇五一

仙台市若林区新寺三二七一一 光寿院内

TEL: 080-3144-3020 (専用)

FAX: 022-292-11277

E-mail: info@santapi.com

ホームページ: <http://www.santapi.com/>

事務局長 阿部 真龍



令和元年度正会員新入会員

・二教区	國分尼寺 徒弟 小枝 崇徳
・五教区	龍泉院 徒弟 佐藤 正人
・八教区	龍泉院 徒弟 佐々木宏優
・九教区	瑞川寺 徒弟 木村 謙亨
・九教区	眞源寺 徒弟 齋藤 大裕
・十一教区	願成寺 徒弟 大枝 寛昭
・十二教区	龍澤寺 徒弟 山脇 眞瑞
・十三教区	大永寺 徒弟 武田 光禎
・十四教区	長照寺 徒弟 齋藤 昭典
・十五教区	大徳寺 徒弟 橋 智大
・十九教区	長徳寺 徒弟 佐藤 宗仙
・十九教区	長徳寺 徒弟 佐藤 大仙
・二十一教区	大満寺 徒弟 佐藤 秀胤

令和元年度正会員卒業の方々

・六教区	自照院 徒弟 錦織 誠道
・六教区	常照寺 副住 石川 素宏
・六教区	喜松院 副住 村上 尚幸
・七教区	當寿院 住職 秋山 正明
・八教区	皆傳寺 徒弟 天野 宏心
・十一教区	江林寺 住職 武山 悟峯
・十四教区	大龍寺 住職 千田 道明
・十六教区	清涼院 副住 三浦 賢道
・二十教区	東泉寺 住職 眞山 隆宏



第二十五回カンボジア

教育支援チャリティーバザー

◎日時：令和元年九月五日(木) 午後二時より販売  
◎場所：宮城県東松島市大塩字中沢二十六―一  
東松島市 大塩地区体育館

本年も皆様のご参加と物品提供、並びにご協力の程よろしくお願ひいたします。

編集後記

お盆も近づき、皆さまお忙しくなさっておられるものと拝察を致します。  
第二十六期の広報編集を担当させて頂くこととなり、早速ですが名簿編集など皆様にご協力をお願いしまして、誠にありがとうございました。  
今後の任期も皆様のご加担を頂きながら、役に勤めてまいりたい所存でございます。

(広報編集委員長 松山宏成)



表紙写真 正法寺専門僧堂  
外単にての坐禅風景



無聖 第79号 (令和元年7月31日発行)

表紙題字 宗務所長 三田村道雄 老師  
編集 宮城県曹洞宗青年会  
発行人 神作 紹道  
事務局 宮城県岩沼市早股字  
寺北182 高林寺内  
TEL 090-2849-3830 (専用)  
FAX 0223-29-4132  
URL http://miya-sousei.com  
E-mail info@miya-sousei.com